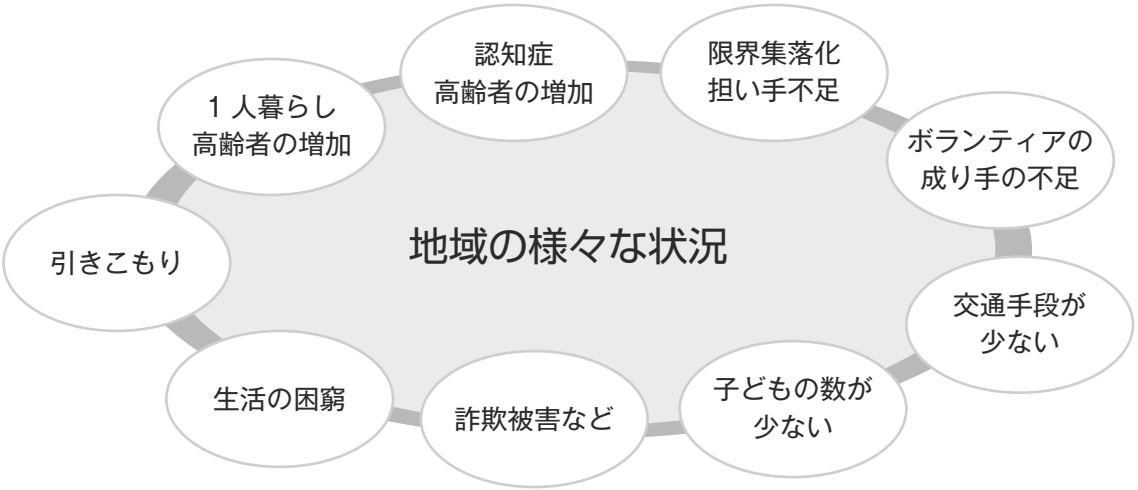
5．計画に盛り込んだ視点

（1）視点



みんなで考え、つながり、解決する地域づくり

① 住民参加型のまちづくり

地域福祉は、地域住民の主体的な参加を大前提にしたものであり、地域住民の主体的な関わりによって進めていきます。計画の策定・実行・検証までの過程を地域福祉活動の実行とします。

② 共に生きるまちづくり

地域福祉は全ての住民に関わる福祉であり、高齢者や障害者、子どもを含む全ての住民が、何か困った時にはみんなで助け合い、支え合う、共に生きるまちづくりという視点を重視します。

③ 自立型の福祉

住民同士の助け合い、支え合いを中心とした地域福祉を展開しながらも、自分でできることは、自力で努め、精神・身体的な衰えを防ぐための予防的な観点で取り組んでいきます。

④ 福祉文化の創造

地域住民による生活に根ざした社会的活動の積み重ねによって、地域の福祉文化の創造を目指します。これによって、子どもの頃から福祉活動に触れる機会をつくります。